

本部長(知事)コメント

記録的な大雨による災害から初めての週末を迎えるに当たり、昼夜を問わず対応に尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

特に、喫緊の課題である孤立集落の解消に向けて大きな前進が見られ、警察・消防・九州地方整備局をはじめ、地元市町村、熊本県建設業協会、熊本県測量設計コンサルタンツ協会、ジャパンレッカー事業協力会など多くの関係機関の協力により、想定を上回るペースで道路啓開が進んでいます。

多くの孤立が解消され、現在も孤立状態にある地域については、住民の意向を確認しながら対応が進められています。住民の意向は日々変化するため、市町村を通じた継続的なフォローをお願いします。

被害状況の把握が進む中で、各部局が連携し、復旧の方向性に基づいた対応を着実に進めてください。また、各部局での動きがある際には、報道機関への資料提供を忘れずに行うよう意識してください。

現在、各市町村では罹災証明の窓口が開設され、申請が増加しています。次は判定作業

に移るため県から職員を派遣します。また、県内の市町村からも職員を派遣すると伺っています。

被災された方々や市町村に寄り添い、1日も早く安心できる日常を取り戻せるよう、関係機関が連携し、きめ細やかな対応を引き続きお願いします。今週1週間のご尽力に、改めて感謝申し上げます。